

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
小山広報協議会	『おやま広報』発行事業	小山地区内で活動する団体は、事業の実施や活動報告を各団体が発行する広報紙や小山地区の地域情報紙を活用して周知していた。しかしながら、様々な広報紙により、事業の周知をする事は、情報が埋もれてしまうことが多く、情報を得ようとする者も必要な情報の得方が分かりにくいのが現状でした。そこで昨年この状況を打開するため、小山地区の情報を一括編集した『おやま広報』を創刊した。今年度も地域住民が情報を把握活用しやすくする事により、地域活性化を継続して図るもの。	平成23年 6月1日『おやま広報』第6号発行 平成23年 8月1日『おやま広報』第7号発行 平成23年10月1日『おやま広報』第8号発行 平成23年12月1日『おやま広報』第9号発行 平成24年 2月1日『おやま広報』第10号発行 平成24年 4月1日『おやま広報』第11号発行※平成24年 3月30日納品 ※広報紙規格 A4サイズ 4ページ(2ページ分カラー) 毎回6000部 発行 ※毎回発行にあたって、企画・編集会議を5回実施。	『おやま広報』の発行により下記の①～④の効果が得られた。 ①地域課題に取り組む自治会活動を掲載し自治会の加入促進に貢献した。 ②地域課題に取り組む公的活動を掲載し担い手育成に貢献した。 ③地区内の有益な公共的情報を一括周知することによりして参加者の増加に貢献した。 ④公共的活動などを周知することにより団体の育成や連携強化に貢献した。	小山地区内の公的行事等を中心とする情報については、各公的団体が個別に情報発信をしており集約されていないため、読者である住民にとっては不慣れな面があった。そこで小山地区の情報を一括してまとめた『おやま広報』を発行することによって住民が情報を把握活用し易くして地域活性化が図られた。	H23.6.1	820,000
宮下自治会	おやこ村農園推進事業	・子供達(保護者を含む)の農業体験。次世代を担う人づくり。 ・子ども会のイベントとして実施することにより子ども会入会者増加を狙う。 ・世代間コミュニケーション(老人会・福祉施設の参加)。 ・夏祭り、収穫祭等の参加者増加。地域コミュニティの活性化。 ・福祉施設等への収穫物配布による社会福祉推進。 ・向陽小学校の”ひまわりのふるさとづくり”に協力。	近年農業従事者の高齢化に伴い全国各地で耕作放棄地が増えている。又、逆に一般の人が野菜作り等をしようと思っても農地を借りることができないため農業体験をすることができないが自治会会員の畑を所有者の指導のもとに自治会と子供会が共同で耕作・管理し、農業体験を通して地域住民全体で働く大変さ、収穫の喜び、食の大切さを学習する事ができた。(農作業受託方式) また収穫物は収穫祭等のイベントに使用するほかに地域の福祉施設等に寄贈した。	地区自治会地域の子どもたちが農業体験を通じて、農作業への理解が深まった。地域の福祉施設との交流が出来た。自治会と子供会・育成会との親密度が増した。収穫祭イベントと文化祭を同時開催し参加者の増加を図られた。	地区自治会地域の子ども会とタイアップし、農業体験を通じて働く大変さ、収穫の喜び、食の大切さを学んだ。また、地域のお年寄りや福祉施設入居者等にも参加を呼び掛け世代間の交流や弱者へのいたわり等も学び、地域の振興が図られ、地域の公的団体の担い手発掘にもつながった。	H23.6.1	345,000
宮下自治会	地域及び地域活動の情報発信および広報に関する事業	・自治会活動を、広報誌・インターネットを利用し、幅広く情報発信することにより、諸活動への参加者増加を図る。又、共同住宅居住者に多い未加入者の自治会加入促進を図る。 ・ホームページ活用のために「パソコンクラブ」を運営し、より多くの会員に迅速な広報活動を行うとともに、メール等による地域住民からの直接の情報収集が期待できる。	・「自治会だより」の発行 A3両面カラー 2500部 5回 会員・協力企業等に配布 ・「加入促進等特集号」発行 A3両面カラー 4000部 2回 未加入世帯を含む全戸配布 ・パソコンクラブによりHPや広報誌編集技術者育成。 ・各種会議、研修会のIT化 パワーポイントによるビジュアル化の充実 ・安全・安心と地域情報(歴史的遺物の所在紹介など)を盛り込んだカレンダー作成	加入促進号を見て自治会未加入者から問い合わせがあり、実際に加入した。自治会だよりのカラー化により読みやすくなったとの意見が多い。地域の防災マップを全世帯に配布できた。加入促進ツール(加入促進等特集号)が出来、加入促進が加速する。自治会内で加入促進に関しての意見・討議が活発になった。	自治会内地域住民を対象に、自治会活動を幅広くPRし、諸活動への積極的な参加を促し、自治会未加入者の加入促進を進め、自治会活動を活性化させ地域全体の活性化を図った。	H23.6.1	890,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
ばんばんフェスタ実行委員会	ばんばんフェスタ (青少年健全育成事業)	<p>1. 地域の仲間づくりと地域活動参画の動機付けとする。</p> <p>2. 子どもたちは体験を通して多くの地域住民との交流を目指す。</p> <p>3. 地域は楽しく安心できる居場所であることを実感できる。</p> <p>4. 地域には自分に出来ることがある、地域で自分は役に立つことができる、ということに気付かせる。</p> <p>5. コミュニケーション力を発揮する機会とする。</p>	<p>1. 組織づくり 平成22年度実行委員と小山地区ジュニアリーダーズクラブで実行委員会を組織した。</p> <p>2. 企画立案 ①エコ推進活動(さつまいも栽培と収穫、草取り、クリーン作戦ゴミ拾い)計画 ②ばんばんクッキング(収穫したさつまいも等を利用し調理実習)</p> <p>3. 運営 ばんばんフェスタ実行委員会が運営する。</p> <p>4. 振り返り 反省会</p> <p>5. 実施期間 当年事業は平成23年4月1日～24年3月29日</p>	<p>1. 地域の仲間づくりと地域活動参画の動機付けとなった。</p> <p>2. 子どもたちは体験を通して多くの地域住民と交流できた。</p> <p>3. 地域は楽しく安心できる居場所であることを実感できた。</p> <p>4. 地域には自分に出来ることがある、地域で自分は役に立つことができる、ということに気付いた。</p> <p>5. コミュニケーション力を発揮する機会となった。</p>	<p>本事業を継続することにより人や社会とのつながりを築く力やコミュニケーション力、人間力の向上、さらに地域の安心安全に貢献できたと考えている。</p>	H23.6.1	270,000
小山共育コミュニティ	小山地域の子ども、大人、高齢者のふれあいと協力による安心安全な住み良い町づくり事業	<p>小山地区の幅広い世代の交流とふれあいの活動を通して安心安全で美しく落ち着いた、住み良い小山の町づくりを目指す。</p>	<p>・あそびや学びとふれあい活動を通して地域の人々への支援した。</p> <p>・地域のごみ拾い、美化活動を行った。</p> <p>・三世代交流(廃油石けんづくり、昔のあそび体験、紙芝居・絵手紙体験)を行った。</p>	<p>最近の地域社会の人と人のつながりの希薄化から、町の汚れ、犯罪の多発、青少年問題、孤立などの様々な課題が生じている。しかしながら、本事業を実施した事により、地域の子ども、大人、高齢者が一緒になって取り組む活動を通じて、人と人のつながりを深め、安心安全で美しく落ち着いた、小山の町づくりに役立った。</p>	<p>小山地区の幅広い世代の交流とふれあいの活動を通して安心安全で美しく落ち着いた、住み良い小山の町づくりに貢献できたと考えている。</p>	H23.6.1	100,000

